

自分自身が陶芸を楽しんで、
自分にしか出来ない企画や
ものをつくりたい！

チャレンジの あゆみ

大学の芸術学部デザイン科クラフトコースで、工芸や物づくり・陶芸等を学ぶ。

大学卒業後、福岡でアルバイトをしながら、陶芸を続けていたが、天草の丸尾焼と縁があり、2000年から10年間丸尾焼で修業を積む。

自分の作品を作ってみたいと思い2010年に独立を決意。丸尾焼で縁があった日比野克彦さんが「市山くじらや」と命名。五和町手野にて開窯する。

連絡先

市山くじらや
天草市五和町手野
1丁目 2909
TEL : 0969-34-1156



丸尾焼で10年修業して独立
五和町手野にて開窯

市山くじらや
いちやま ふみこ
市山 富美子 さん

一度仕事にしてみよう…

～ Profile ～

長崎県壱岐出身。五和町在住。大学の芸術学部のデザイン科クラフトコースで工芸や物づくり・陶芸や紙をすく等の技術を学ぶ。大学を卒業して2年間は自分で陶芸をしていたが、天草の丸尾焼に縁があり10年間修業を積む。2010年に現在の五和町手野にて「市山くじらや」を開窯。



日比野克彦さんが考えてくださったロゴとマーク



陶磁器フェア

陶芸がしたくて大学の芸術学部を選んだわけではありません。でも小さい頃から「職人」「匠の技」みたいな職業に憧れていました。大学を出て2年くらいはアルバイトの収入で陶芸の作品を作っていました。仕事にしてみたいなという思いと、ちょうどタイミングよく丸尾焼とご縁があり「嫌ならやめてもいいから一度仕事にしてみよう」と思ったのが今の活動のきっかけです。

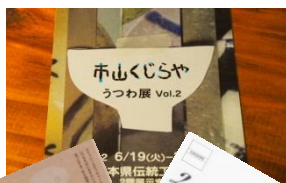


独立して自分の看板を出してやってみたい！



丸尾焼で10年間修業をさせていただきました。仕事をしていてやっぱり嫌じゃなかったというのが大きいのですが、ただ決められたものを作っていくというよりは、自分の作品を作ってみたいという思いが強くなり独立しようと思いました。「市山くじらや」というロゴとマークは、実家が鯨肉店ということで、丸尾焼の時にご縁がありました日比野克彦さんが考えて下さいました。私の作品に興味がある人が覚えてくれるとても素敵なロゴです。

自分の作品を好きな人がいてくれる



独立してから、自分の器を使っているお客さんとの接点や、自分の器を見に来たり買いに来てくれたお客さんとの触れ合いから得られる充実感が、すごく自分にとって大きいと感じています。これからはもっと外に出て行きたいし、コーヒーの器展のようにテーマを絞った物づくりや企画をしていきたいと思います。身近な人や、天草、九州だけでなく、なかなか会えない人にも器を届けられるように、器から「市山くじらや」を知っていただけるように、これから活動していきたいと思っています。



「一緒に幸せを分かち合う」を モットーに御所浦を PRしていきたい

チャレンジの あゆみ

実家の手伝いをしながら、島の案内・ジオガイド・アイランドツーリズムなどの各種ボランティア活動を行う。

- ・女性消防団に入団
- ・天草市女性人材バンクへ登録
- ・各種研修へ参加

自ら学び啓発しながら天草の中の御所浦をボランティア活動を通じて、PR活動を行いたい。

連絡先

鵜飼 実紀

天草市御所浦町 4290

TEL : 0969-67-1830



各種ボランティア活動

うがい みき
鵜飼 実紀 さん

～ Profile ～

御所浦町出身。御所浦町在住。
地域の課題解決に向けボラン
ティア活動に力を入れる。



みんなが島の案内人

美しい御所浦の島々

御所浦町に観光で入られた方にボランティアで案内したり、御所浦アイランドツーリズム（漁業や農家を営む家庭が、島の暮らしそのままに訪れた人を受け入れる事業）のお手伝いをしています。島の皆さんは特別なことなく、あたりまえのこととして、おもてなしの気質を持っています。人との出会いを大切に、たくさんの方に訪れてもらって御所浦をもっと知ってもらえたらと思います。



動かないと何も変わらない

さまざまなボランティア活動

私が住む御所浦が“どのようになっていけばみんなが幸せと感じられるようになるのか？”“島の良いところを伸ばし、時代に合わせた町づくりをすすめるには？”との思いから、まずは色々な情報を得るために、さまざまな勉強会に積極的に参加しています。女性消防団に入団したことで、台風・家事などの災害への防災意識が高まったことで、地域の独居老人を見回る活動も始めました。

また、食生活推進員、お見合いイベント、料理教室、施設の慰問などの活動と合わせ、“子どもたちが自主的に英語であそぶ”というコンセプトの無料英会話サークルも行っています。

女性の元気とやる気があれば・・・

これまでは、行政から市民に呼びかけ行われる活動が多かったですが、今は“こういうことをやりたい、こうなりたい”と、やる気がある人たちが提案し、その取り組みを行政にサポートしてもらうことが多くなりました。これからは提案していくことがもっと重要になってくると思います。女性が様々な決断の場に関わっていくことで、多様な考え、意見が反映されるよう、私も天草市の女性人材バンクに登録しています。女性の元気とやる気があれば、御所浦はもちろん、天草ももっと元気になると思います。私のモットーとしてしていることは「一緒に幸せを分かち合う」ことです。子どもと楽しくふれ合い、年上の方を敬い、多くの人たちと沢山の交流をし、来島者へは心からのおもてなしをすることを、常に心がけています。これからも御所浦をPRするために、精一杯努力していきたいと思っています。



一人でも多くの子どもたちが、 明日に希望を持てるように

チャレンジの あゆみ

民宿業の傍ら「からゆきさん」の研究をする。世界に雄飛した「からゆきさん」の日本人墓地を探中、インドへ。「売られてくる少女たち」に出会う。

2001年「インドに幼稚園を作る会」のボランティア団体を発足。2008年特定非営利活動法人とし、理事長に就任する。

2011年デカン高原・パトダ地区にてモリンガ栽培による社会貢献事業に取り組む。

1998年頃から天草各地の学校・幼稚園・施設などへ、読み聞かせボランティアとして出向き活動する。天草の歴史を織り込んだ絵本・エッセイ・切り絵ポストカードなど出版。

連絡先

特定非営利活動法人
インドに幼稚園を作る会
天草市大浜町 17-15
TEL 0969-23-1459



特定非営利活動法人
インドに幼稚園を作る会・理事長
切り絵作家
読み聞かせボランティア

おおくぼ みきこ
大久保 美喜子 さん

NPO 法人 インドに幼稚園を作る会とは

～ Profile ～

新和町出身。大浜町在住。
民宿・花月グループ 女将
・2008年 特定非営利活動法人インドに幼稚園を作る会理事長就任。
・AMSC（アートメゾン美術評論家選考委員会）推薦切り絵作家
2008年フランス「ル・サロン展」入選
・図書館・語り隊隊員（読み聞かせボランティア）
・インテグラルヨガ（総合的な）インストラクター



切り絵



毎年約 2 万人の少女達が、インド近隣の寒村、バングラディッシュ、ネパール等からインド・ムンバイの売春街へ売られてきます。多くが初等教育さえ受けられない貧しい家庭の出身です。やがて、少女達は望まぬ妊娠をし、子どもを産みます。生まれた子どもたちは不衛生で劣悪な境遇で生きていかねばなりません。「インドに幼稚園を作る会」は、売春街で生きるその子どもたちの為に幼稚園を作り、現地スタッフと連携して運営しています。女衞や客の暴力におびえ、自らもエイズ発症の恐怖に耐えながら暮らしています。

幼稚園が、唯一子どもたちにとって安心して遊び学び食事ができる場所です。現在、ムンバイのカマティプラエリアに 2 か所の幼稚園があり、インド人スタッフ 12 名と約 50 名の幼児が在籍しています。

貧困の負の連鎖を断ち切るために

インドでも最大の売春街に幼稚園を作り、母親が売春婦の子どもたちに初等教育や基本的な生活習慣を教えています。親から子どもたちに受け継がれる無知と貧困の負の連鎖を断ち切るために、教育が最も大切であるとの思いで活動を行っています。子どもたちへの支援をさらに強化するために、2011 年 7 月よりインドのデカン高原パトダ地区でモリンガの木の植林栽培を始めました。

今までは、「釣った魚を与える支援」でしたが、今は子どもたちの家族が自立した生活が出来るように「魚の釣り方を教える支援」を行っています。一人でも多くの子どもたちが希望を持てるような社会を目指しています。



インドの子供たちへ
読み聞かせ

子供たちへの本の読み聞かせを通じて

長女が小学校 6 年生の頃より、小学校などで読み聞かせの活動を行っています。現在は、「図書館語り隊」のボランティアで、図書館・小中学校・特別支援学校・わくわく児童館などで読み聞かせを行なっています。また、天草の歴史を織り込んだ作品に切り絵を添えて出版。山鹿市にて、切り絵の初個展を開催することができました。今は、「からゆきさん」を中心に女性史を研究中です。



民宿花月にて

